



「風さやか」通信（第7号）



9月の下旬から県内の各地で「風さやか」の収穫が行われ、いよいよ新米シーズンに突入です。今回は、「風さやか推進協議会」の高橋義三会長のコメントと最先端のコンバインによる収穫の様子をお届けします。



高橋 義三
「風さやか推進協議会」会長
(農事組合法人
野沢農産生産組合 組合長)

長野県の奨励品種 ブランド米の「風さやか」
①美味しくて ②お求めやすく ③たくさん穫れる！
三拍子そろった品種です。

「風さやか」の生産面における特徴は、なんといってもコシヒカリと比べて短稈であるため、倒伏しにくく、収量が多く確保できることです。

しかし、収量が確保できるからと言って多くの肥料を施すと、窒素過多になり品質面に影響が出ます。

こまめな食味優先の管理やカメムシ対策の徹底を行うなど、「手間ひま」かけた栽培を心がけることによって、良食味の「風さやか」を生産することができます。

そのかいあって、今年もおいしい「風さやか」を作ることができました。

生産者の皆さん全員で食味の良い 高品質な「風さやか」を生産してブランドを守っていきたいと思っております。

食味・収量センサ付きコンバインによる「風さやか」の収穫

最先端のスマート農業技術は収穫機器にも導入されており、食味（水分・タンパク含量）や収量を計測しながら刈取り作業を行うコンバインが利用されています。コンバインから得られた食味・収量データは水田ごとに分析・管理され、次年度の施肥設計など栽培改善に役立てることができます。

「風さやか」では、品質の向上が重要な課題となっていますので、先端技術の活用によりほ場条件に応じた施肥が可能となり、良食味で均質な米づくりが期待されます。



食味・収量センサ付きコンバインによる「風さやか」の収穫(10月12日、伊那市の農事組合法人・田原にて)

水稻の収穫作業はほぼ終了しましたが、本年は「コシヒカリ」で倒伏の著しい地域があり、倒伏に強い「風さやか」の優位性が各地から聞こえています。米の生産者のみなさまには、来年の稲作に向けて、「風さやか」の栽培・増産を是非、御検討ください。

お問い合わせ先：「風さやか」推進協議会（長野県農政部農業技術課内 担当：伊東）

TEL: 026-235-7221 FAX: 026-235-8392 e-mail: kazesayaka@pref.nagano.lg.jp